

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年10月10日（木）

2 確認箇所

- ・物揚場
- ・常設給水所(シールド中央制御室(CCR)西側)
- ・マスク洗浄エリア(入退域管理施設内)

3 確認項目

福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会労働者安全衛生対策部会立入調査における現場確認

4 確認結果の概要

「福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会労働者安全衛生対策部会」による立入調査を実施し、専門委員、国、関係市町村とともに次の現場の状況を確認した。

ア 海水サンプリング業務における負傷者発生の再発防止対策の状況

新たに設置した垂直梯子及び浮栈橋付近において、次のとおり東京電力から説明を受けるとともに対策を講じた現場の状況を確認した。(前回確認：7月22日)

- ・梯子には滑り止めテープを貼付し、縦バーを持たないように注意喚起表示を行った。(写真1-1)
- ・潮位が変動しても使用できるよう仮設の浮栈橋を設置し、船長のみ梯子を使用して他の作業員は新たに設置した浮栈橋から乗船する運用とした。(写真2-2)
- ・年度内に浮栈橋の本設工事を行い、船長及び船長補佐を含む作業員全員が浮栈橋を使用して船に乗り込む運用に変更予定である。
- ・装備についてもグリップ力の高い手袋、耐滑性の作業靴とした。

イ 常設給水所の状況

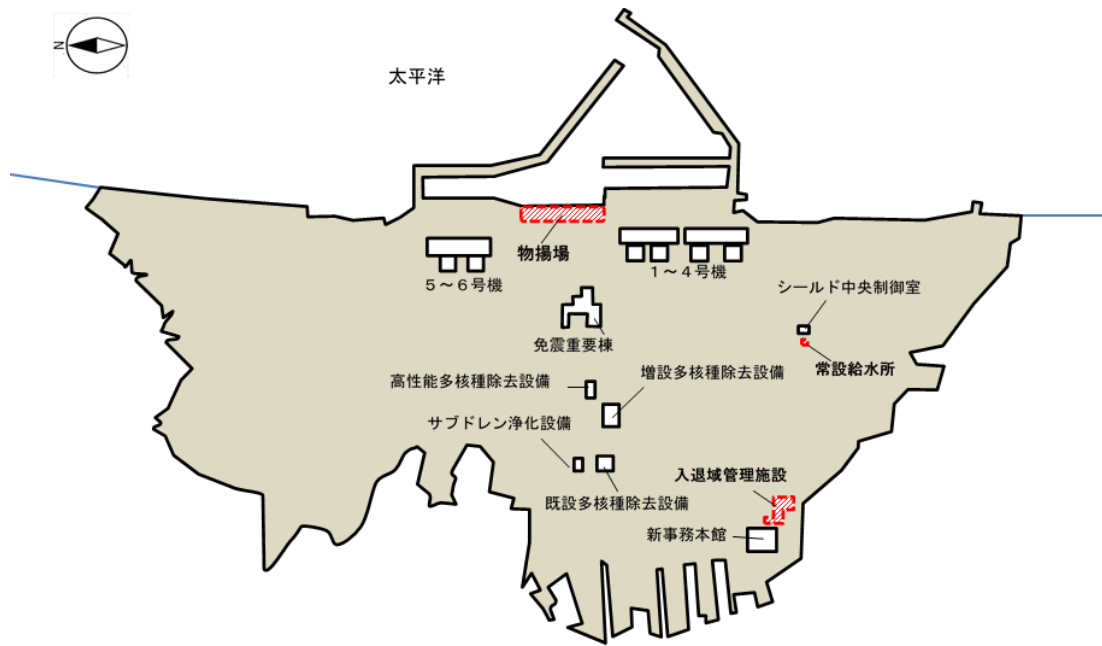
熱中症対策としてシールド中央制御室(CCR)西側に設置してあるトレーラーハウスを利用した常設給水所を確認した。(前回確認：6月7日)

- ・東京電力から説明があった後、数名が代表して室内に入り、運用状況を確認した。(写真2)

ウ 使用した全面・半面マスクの洗浄の状況

作業員の感染症防止対策等のため、マスク洗浄の状況を確認した。

- ・マスクをアルカリ水に浸漬し消臭後、次亜塩素酸水により除菌する作業を2人1組で行っていた。乾燥室内の状況も確認した。(写真3)
- ・東京電力によると、来年度、自動化する計画とのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
東京電力から説明を受けている状況
(新たに設置した垂直梯子付近)



(写真1-2)
同上
(浮棧橋付近)



(写真 2 - 1)
東京電力から説明を受けている状況(写真中央が給水所)



(写真 2 - 2)
給水所室内で東京電力から説明を受けている状況



(写真 3 - 1)
洗浄シンクでマスクを洗浄している状況



(写真 3 - 2)
乾燥室内の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。